



こばやし たか ゆき

小林鷹之

Vol.68

からの手紙

衆議院議員 小林鷹之 国政報告

討議資料

自民党千葉二区支部小林鷹之事務所発行
(千葉市花見川区・八千代市)

🌐 kobayashi-takayuki.jp

✉ info@kobayashi-takayuki.jp

🐦 twitter.com/kobahawk

📘 www.facebook.com/hawk.kobayashi

HP



台湾訪問



頼清徳総統と1時間半にわたる意見交換



蔡英文前総統との写真撮影に『楽楽ちゃん』も



同世代の蔣萬安台北市長と



全国に応援へ



後援会に入会しませんか

お申込み、お問い合わせは、電話（地元事務所）、メールまたはホームページからお願いします。

会費無料

小林鷹之
Profile

東京大学法学部卒業。ハーバード大学行政大学院修了。財務省課長補佐、外交官を経て現在衆議院議員5期目。経済安全保障担当大臣、内閣府特命担当大臣（科学技術・宇宙）などを歴任。

地元
事務所

〒276-0033
千葉県八千代市八千代台南1-3-3 山萬八千代台ビル1階
TEL047-409-5842 FAX047-409-5843

国会
事務所

〒100-8981
東京都千代田区永田町2-2-1 衆議院第一議員会館417号室
TEL03-3508-7617 FAX03-3508-3997

【参院選を振り返って】

先般の参院選では自民党は大敗。国民の皆様から最後通牒突き付けられたものと受け止めています。「国民の意識や感覚とズレている」との声。「暮らしに不安を抱える私たちを見ていない」との声。今回の選挙期間中は、自民党の各候補陣営からご要請を頂き、全国100か所以上で街頭演説等を行いました。各地の自民党支持者の方々からも「自民党が何を訴えたいのかわからない」「自民党は保守政党ではなかったのか」など、厳しいお声を頂きました。

今回の選挙結果を速やかに総括し、国民の皆様の声に真摯に耳を傾け、自民党の体質・意識を抜本的に変えなければ、この先はない。その思いで活動を続けますので、引き続きのご指導をよろしくお願い申し上げます。

なお、地元の千葉県選挙区では、石井準一候補が激戦を制し1議席を死守しましたが、豊田俊郎候補が涙をのむ厳しい結果となりました。

私は、参議院選挙期間中全国各地に応援に行く中で、自民党に対する厳しい向かい風の中でも、自民党の旗を降ろさず、ふるさと、そして日本のために思いの丈を必死で訴える多くの候補者、そして候補者を懸命に支える地元の議員、黨員、支援者の姿を見ました。



今回の結果は候補者自身ではなく、「自民党」にあります。こうした仲間の無念さと思うと悔しくてたまりません。そうした仲間の犠牲を謙虚に受け止める姿勢が党には足りていないと感じます。

【台湾訪問】

先の通常国会が閉会した後、台湾を訪問しました。6月25日の午後と6月26日の実質1日半の日程。国会議員は私人でありましたが、賴清徳総統、蔡英文前総統、蕭美琴副総統、韓国瑜立法院長、呉釗燮国家安全会議秘書長、馬英九行政院政務委員、林佳龍外交部長（部長）は「大臣」相当、顧立雄国防部長、郭智輝經濟部長、蔣萬安台北市長、邱義仁總統府資政などが丁重にもてなして下さり、充実した意見交換ができました。台湾の関係者の皆様に感謝致します。

特に、賴清徳総統との面会では、冒頭、私から、「社交辞令は一切抜きにして率直な政策議論をしましょう」と呼びかけ、賴総統も快く応じて下さいました。半導体や人工知能などの供給網を日台でいかに強化していくかを含め、具体策に踏み込んだ意見交換をしました。

また、私からは、日台間の「歴史」、「経済」、「心と心」の3つの絆と「台湾を孤立させない」との戦略的な絆を深



めていく必要があるということとを特に強調してお伝えし、賴総統からは、深い賛同を頂きました。

予定時間を大幅に超えて1時間半経った後に賴総統からは、まだまだ議論をしたい点があるので更なる議論の延長をオファー頂いたのですが、私の予定の関係で次の機会にとなりました。厚遇に心から感謝です。

蔡英文前総統とも久しぶりに再会しました。「苦しい時の友は真の友」。災害やコロナ禍における台湾からの支援に謝意を伝えつつ、国際情勢に関する冷静な分析と毅然とした姿勢に感銘を受けました。安倍元総理との思い出話も伺いました。蔡前総統の事務所はアットホームな造りで「楽楽ちゃん（元災害救助犬）が足をテクテクと歩いていて癒されました（笑）。

対米関係含め、国際社会も流動化しています。参院選の結果を踏まえると、国内の政治状況も先がなかなか見通しにくい状況です。

しかしながら、こういう状況だからこそ、新たな日本の扉を開くという気概を持って、国政に邁進します。地元の皆さまとは、夏まつりなどでお目にかかれることを楽しみにしています。

令和七年七月吉日

衆議院議員

小林鷹之